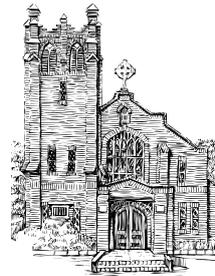
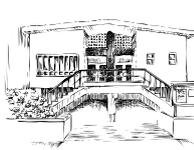


日本聖公会

大阪教区報



大阪聖パウロ教会

大阪聖アンデレ教会

旧大阪聖三一教会

主教座聖堂 川口基督教会

日本聖公会
大阪教区総務局

〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8

TEL 06-6621-2179

FAX 06-6621-3097

発行責任者
総務局長 司祭 内田 望

+++++ 第505号 2022年12月20日発行 +++++

この人を見よ

主教 アンデレ 磯 晴 久

目に見える自分のきょうだいを愛さない者は、目に見えない神を愛することができないからです。(ヨハネ14:20b)

主イエス・キリストのご降誕を、心よりお祝い申し上げます。

私が主イエスに魅力を感じるようになったのは、中学生の頃でした。ただ、幼少期にキリスト教ではなかった我が家に、なぜか主イエスの絵本があったのです。よく読んでいたので、知らず知らずのうちに魅かれていたのかもしれないが、意識するようになつたのは、中学生の頃でした。

特に、讚美歌(121番)にも聖歌(357番)にもあります「まぶねの中に」の影響が大きかったのです。この曲には主イエスの生涯が凝縮されています。

「まぶねの中に 産声あげたくみの家に 人となりて貧しき憂い 生くる悩み つ

ぶさになめし この人を見よ」

2節には「虐げられし人を訪ね 友なきものの友となりて 心碎きし この人を見よ」、また3節には「十字架の上に あげられつつ 敵をゆるしし この人を見よ」と続きます。

中学生の私には、なんと不思議な生き方をする人なのか



という興味が心の中にふつふつと起こってきたのです。この曲が、主イエスと私の出会いの始まりとなりました。主イエスは、大変身近なお方となりました。

神さまは見えませんが、主イエスは確かに私たちと同じ人となり、目に見えるお方として生きられたのです。「言は肉となつて、私たちの間に宿った。」(ヨハネ1:14a)

その御生存の時、見て、聞いて、触ることのできたお方だったのです。主イエス・キリストの福音は、見て、触ることのできる大変具体的な性格をもっています。主イエスの出来事には、食事と病をいやすお話が多いのです。

主イエスが教えてくださった主の祈りでも「わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください」とお祈りします。私たち聖公会の教会が一番大切にしている聖餐式は、食べる、飲むということを中心になされます。主イエスは病をいやすことをされますが、身体を大事に考えておられるからです。

福音の伝達は、具体的なことを通して行われます。耳に聞こえること、目に見えること、手で触れることは極めて大切なことです。もちろん、見えないものがあるということをお忘れてはなりません。人生が薄っぺらいものになってしまっています。大切なものは目には見えないことが多いです。

聖書を見、読むことはできませんが、聖書を通して語り掛ける下さる神さまを肉眼で見ることができません。しかし、目に見えないもの、

たとえば親切心です。ある人が親切な人だと言う時には、必ずそこに何か目に見える親切な行いがあつたはずで、人は良心的な人だと言う時も、必ずそこに何か目に見える良心的な行いがあつたはずで、

ヨハネの手紙14章20節bに、ドキツとする聖句があります。「目に見える自分のきょうだいを愛さない者は、目に見えない神を愛することができないからです。」目に見えない神さまを愛するというなら、目に見える兄弟姉妹を愛することが伴わないといけません。と、言うのです。

主イエスのご降誕をお祝いするクリスマス。聖歌「まぶねの中に」に凝縮されている主イエスの御生涯を黙想しましょう。愛の人主イエスを見つめましょう。

4節「この人を見よ この人にぞ こよなき愛は あらわれたる」教会の中のキャンドルに、私の心の中のキャンドルに愛の火が灯るよう、祈りの内にクリスマスを迎えましょう。

(引用聖句は、聖書協会共同訳を用いています)

(教区主教)

教区会演説(要約)

主が来られたから 主がわた
しのもとへ

聖職

主教 1

主と共に歩む この道を行こ
う 聖歌517番より

司祭15 (大阪教区から
出向) 2 任大彬任大彬司祭
奥村貴充おくむら たかみつ司祭)

宣教協働者 司祭3

神戸教区からの出向
司祭1 (休職中)

執事 1

嘱託司祭8 (大西主教
は中部に出向)

定住 2

京都教区からの協力司
祭 1

おはようございます。日本
聖公会大阪教区第129 (定期)
教区会に、皆様よくご参集く
ださいました。また2年3年
と続きます新型コロナウイルス
S感染症禍の下、それぞれの
教会が感染防止のために、お
互いの健康を守り合うため
に、創意工夫をして歩んで下
さっていることに、敬意を表
します。

現在の大阪教区の姿は、
教会21 伝道所1 関係学校
3 (プール学院 桃山学院
聖バルナバ助産師学院) 関
係病院1 (聖バルナバ病院)
関係社会福祉施設4 (ヨハネ
学園 三光塾 博愛社 東光
学園 多岐にわたる福祉・教
育事業が展開されています。)
NPO法人聖公会生野セン
ター 守口ぶどうのいえ
認定こども園愛光幼稚園 認
定こども園プール幼稚園

印象を強く持ちました。決断
に敬意と感謝をささげます。
北摂の中心教会としての今後
の働きに注目しております。
皆様お祈りください。

大阪聖三一教会の教会建築
と博愛社とのコラボレーショ
ン小規模児童養護施設「つむ
ぎ」の建設が竣工し、礼拝堂
の聖別式を行うことができま
した。皆さまのお祈りと多大
なご支援に感謝申し上げます。
大阪南地区の中心教会とし
ての働きに期待しておりま
す。

1、教区成立100周年に向けて
来年2023年、大阪教区
は教区成立100周年を迎えま
す。何を大切に歩んだらいい
のか。私は3つの柱を皆様と
共有したいと願っております。

① 持続して安定的に礼拝を
守ること

② 宣教・伝道に力を入れる
こと 生きづらさを感じ
ている人々 こどもから
大人 高齢の方 外国に
ルーツを持つ方
③ ていねいな牧会

「当たり前ではないか」と
いう皆様のお言葉が聞こえて

きます。原点に立ち返って歩
みましょう。私は100周年に向
けて、黙想を続けております
が、聖句として、ネヘミヤ記
8・10から「主を喜びとする
ことこそ、あなたがたの力で
あるからだ。」が与えられて
います。最初にお読みした聖
歌517番にありますように、主
イエスこそ、私たちの歩みの
鍵をにぎるお方であります。

主が私たちの下にきてくださ
り、共に歩んで下さることが
私たちの喜びであり、力の源
であります。「私は道であり、
真理であり、命である。私を
通らなければ、誰も父のみも
とに行くことはできない。」
(ヨハネ14:6) 私たちは主
に導かれて主の道を歩み、神
のもとへと旅する群れの一人
であります。

2023年6月11日(日)
にプール学院メアリーズホー
ルで教区成立100周年記念礼拝
を予定しております。その日
だけではなく、これからの歩
みが喜びに満ち溢れた歩みと
なるように、皆さまと共に準
備したいと願っております。

また先ほども「主イエスと
共に歩む」と申しましたが、
宣教局からは、「歩み出す」ど
こに向かつて歩みだすか」と
いうテーマや課題が提案さ
れていきます。各教会におかれ
ましても、「歩み出す」「どこ
に向かつて歩みだすか」とい
うお話し合いを始めてくださ
ればと願っております。

2、「みことばの礼拝」を、
どの教会も主日礼拝において
月1回は実施くださるよう
に、御計画をよろしくお願
い致します。

3、本日教区会後に、「宣教
協働区」「伝道教区制」につ
いて、学びの時を持ちます。
先日10月30日に大阪城南キリ
スト教会でお聞きになった方
もあると思いますが、今日も
ご参加頂いて、学びを深めて
頂けたらと願っております。
現在宣教協働区として、京都
中部 横浜 大阪の4教区で
協議をはじめております。

また、京都教区臨時教区会
で報告されました「京都事件
検証報告書」についてのご報
告もごさいます。ご参加の程
よろしくお願ひ致します。
また、主教選挙についても、
ご一緒に祈りを深めていきま
しょう。

4、セーフ・チャーチについて
教会は神によって建てられ



アモス 金頭昇司祭・
マリアンヌ 洪ヨンスさん
「ご結婚おめでとう！」

12月3日(土)、大韓聖公会ソウル教区より、大阪教区に出向されているアモス金頭昇司祭が、パートナーであるマリアンヌ洪ヨンスさんと川口基督教会で聖婚式を挙げられました。当日は晴天に恵まれ、磯晴久主教様の司式・説教のもと参列者一同が新しいご家庭の上に神さまの祝福をお祈りしました。

神の民の集いであります。教会に集い、心と魂の平安を求め、主イエスが望んでおられる神の国をこの世にもたらしめるために共に歩んでいます。本来、教会は、皆が安心して求道生活を送ることができるよう、安全な場所です。ところが、「安全」であるはずの教会の中で、心理的、性的、身体的な虐待などの相手の意に反する言動によって、神にかたどって造られた人間の尊厳が踏みにじられることが、世界の聖公会の中で起きています。日本聖公会は、「アングリカン・コミュニオン諸管区すべての人—ことに子ども、青年、弱い立場の大人—の安全を高めるためのガイドライン」(略称「セーフ・チャーチ・ガイドライン」)を翻訳しました。日本聖公会に連なるみなさんと教会が、教会らしくあるための道を分かち合うためです。教区で教会で、関係諸施設でも共に学び、話し合ったいきいたいと願っております。

社会の中でどのように宣教・伝道活動を展開するかを考えました時、1教会1教役者の時代は終わったと考えています。教役者の協働、各教会間の協働は、どうしてもやりとげなければなりません。なかなか一気にはいきませんが、ブロックの再編も考えながら、2023年1月からチーム・ミニストリーの具体的な実現を進めます。各教会を訪問し、ご相談・ご提案に参ります。どうぞよろしくお願い致します。

6、聖公会生野センター設立30周年記念感謝礼拝へのご参加とお祈りに感謝申し上げます。大阪教区、日本聖公会の大切な宣教の業として、今後ともご支援とお祈りをよろしくお願い致します。

7、202230と言う数字を御存知でしょうか。女性の意思決定機関への参加を2022年までには30パーセントを目指してと言うことで日本聖公会が取り組んでいる課題です。基本は、それぞれに与えられている賜物を生かそうということ。今回も常置委員選挙がございませうが、このことをお考えいただ

いて、祈りをもって投票をよろしく願致します。

8、日本聖公会では、2023年11月10日(金)〜13日(月)清里を会場に日本聖公会宣教協議会ぶどうの枝協議会を開催します。「いのち、尊厳、限らないもの—」となりびとなるために—をテーマに行われます。それまでの1年間をブレぶどうの枝協議会として、準備を進めております。まもなくポスターと開催要項が皆様のもとに届きます。お祈りとご支援、ご参加をよろしく願致します。(リモートでの参加も考えております。)

9、心からのお詫びをしなければならぬ事案がございませう。大阪聖パウロ教会において、教役者がしました不始末によりまして、信徒の皆さまとの間の信頼関係を台無しにし、信徒の皆さまを深く動揺させ傷つけることとなりました。原田佳城司祭を懲戒処分として、休職を命じたことですが、教役者の監督責任を負う主教として、心からお詫び申し上げます。

他の教役者の皆さまも教会員との信頼関係構築には充分配慮下さり、共に歩んで下さる。最後に、新型コロナウイルス第10波かともいわれております。空気感染と言うことがはつきりとしたようです。換気に取り付けて進めて参ります。議事進行へのご協力をよろしくお祈り致します。資料はすでにお読みいただいていると、このことで、報告などは、これらと言う大事な点を報告くださる。最後に、新型コロナウイルス第10波かともいわれております。空気感染と言うことがはつきりとしたようです。換気に取り付けて進めて参ります。議事進行へのご協力をよろしくお祈り致します。資料はすでにお読みいただいていると、このことで、報告などは、これらと言う大事な点を報告くださる。

大阪教区婦人会被献日礼拝
日時：2023年2月2日(木)10時30分～
場所：大阪城南キリスト教会
説教者：かなやまさし 金山将司 司祭
(恵我之荘聖マタイ教会牧師)

日本聖公会大阪教区
第129(定期)教区会報告

司祭 ヤコブ 松平 功

11月23日(水・休)午前9時、大阪教区主教座聖堂川口基督教会に第129(定期)教区会が招集されました。

まず、開会聖餐式が執り行われ、式中においてこの一年に逝去された聖職・信徒議員のために祈りが献げられま

した。2022年度内に逝去されたのは、教役者では主教ヤコブ宇野徹師父、主教ヨハネ古本純一郎師父、ステパノ高橋正平司祭、そして信徒代議員としてご奉仕いただいた、ヨセフ宇井和広さん、アグネス高橋敏子



川口基督教会聖堂での本会議の様子

さん、ヨセフ猿橋靖さん(3人共に高槻聖マリヤ教会)、ヨハネ坂口望さん(守口聖オーガスティン教会)、ダビデ松田英彦さん(大阪聖アンデレ教会)の8人の方々に逝去日順)。

また、この礼拝で献げられた信施4万891円は、「パキスタン洪水被害者のため、および大阪聖三一教会の建築募金のため」に用いられます。

聖餐式後の本会議は丁度10時から始められ、今年も昨年と同様に感染予防対策の一環としてソーシャルディスタンスを保つためという理由で、聖堂で行われました。手の消毒やマスク着用を義務付けての報告や質疑応答に加え、昼食も2階と3階に分かれての黙食という徹底した対策が施されました。

本会議に関しては、点呼の前に動議が発動され大韓聖公会ソウル教区から大阪教区へ出向して来たばかりのアモス金頭昇司祭を本会議からの教役者議員として迎え入れるという採決が取られ、全員一致で承認されました。この動議承認によって教役者議員ひ

とりが追加され17人中13人の出席が確認され、加えて信徒代議員34人全員が出席して、午前中は教区の現状や諸課題を報告するという形で情報を分かち合うことができました。

昼食後の12時45分から議案審議が開始されました。今年度の議案は、第1号議案の「2023年度日本聖公会大阪教区一般会計予算(案)承認の件」、第2号議案の「特別協働教区」関係の件(京都教区との「特別協働教区」関係

を解消し、「大阪・京都特別協働教区運営委員会」の解散を承認する)、第3号議案の「教区成立100周年記念事業準備委員会の組織を以下のようにすること、2023年の2回の主日信施を記念行事の事業費として献げること承認する件」、第4号議案の「伝道所についての管理手当は不要とする件」、そして第5号議案の「大阪聖三一教会へ建設資金から2,500万円を貸し付ける件」の5項目を数えたのですが、第4号議案の「伝道所についての管理手当は不要とする件」は、内容が不十分であったという理由

で、提出者の常置委員会が審議前に議案を撤回し、次の臨時教区会までに内容を整えて再度の提出をするということになりました。その他の議案に関しては、全ての議案が審議された後、問題なく可決されました。

議案審議に引き続いて常置委員選挙と会計審査委員の指名が滞りなくおこなわれ、主の祈りと議長である主教磯晴久師父の祝福をもって16時に閉会しました。

なお、常置委員選挙の結果は、小林聡司祭、内田望司祭、千松清美司祭、辻節子さん(石橋聖トマス会)、辻綾乃さん(川口基督教会)、寒河江研司さん(大阪聖三一教会)、次点者として古澤秀利司祭と豊川雅章さん(大阪聖愛教会)、二次補欠者として松平功司祭と鈴木憲二さん(尼崎聖ステパノ教会)が選出され、会計検査委員には春名英夫さん(恵我之荘聖マタイ教会)と山本多津子さん(芦屋聖マルコ教会)が指名されました。

(大阪教区第129(定期)

教区会書記局)

大阪教区婦人会秋の修養会

「守口ぶどうのいえ」を知って下さい テーマ・愛することは他者に寄り添うこと

グレース 石井 恭子



講師の守口ぶどうの家施設長 松平功司祭

一日の寒暖差はあるものの天候に恵まれた10月18日(火)13時から、尼崎聖ステパノ教会に於いて、大阪教区婦人会秋の修養会が開催されました。講師は、守口聖オーガスティン教会牧師・桃山学院教育大学チャプレン・守口ぶどうのいえの施設長をされている松平功司祭です。

大阪の病院で治療を必要とする患者さんとそのご家族が安心で安心して過ごせる滞在施設です。他府県から来られる利用者さんには、医療費に加えて交通費・宿泊代の負担が大きく、ビジネスホテル並みの施設でありながら長期滞在も可能とのことで感謝されているそうです。家族と離れて滞在する利用者さんにとつて、司祭ご夫婦やスタッフ、他の利用者さんとの語らいは、しんどさを和らげてくれる大切な場所にもなっているのではないのでしょうか。

一方、松平司祭は不治の病の方にお会いした時などに、寄り添っているのだろうかとお望み感に苦悩されることもあったそうですが、「トイレのピエタ」という映画の一部をスライドで紹介され、その映画を通して「隣人を自分のように愛しなさい(マタイ22・39)」について、愛することとは他者に寄り添うこと、

つまり近くに存在しているだけでよいとの気づきがあり、それはだれにでもできることと強く語られました。そのメッセージは、スタッフやボランティアの方だけでなく、私たちにも活動支援への勇気を与え背中を押してくださいました。本日のお話で、募金やボランティア活動、広報などで少しでもサポートしていきたいと思いました。

出席者は80人(内 聖職者5人)で、席上献金は133,450円は守口ぶどうのいえの働きのためにお献げしました。(大阪聖愛教会信徒)



プロジェクターを用いてわかりやすいお話をしてくださいました

『杖ひとつ』

「白杖と神様に守られて」

パウロ 浅野 正三

ご存知の方も多いと思うが、われわれ視覚障害者にとって、ひとりでにしろ、ガイドヘルパーとししろ、白杖(しろいつえ、以下はくじょうと書く)を持っていないければ、もし不幸にして事故にあった時も、弁解の余地はないのである。

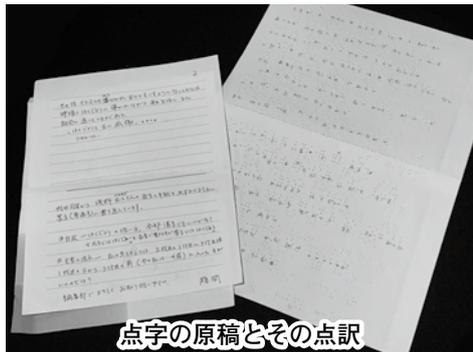
しかし学生時代には視力が少しあったがゆえに、はくじょうを持って歩くことには抵抗があった。ところがある日のこと、私は通学時とある駅のプラットフォームから転落するというこわい目があったのである。その前から学校の先生からは「はくじょうを持つように」と言われていたのに…。

さすがの私もとえ少しの視力があってもはくじょうを持たなければならぬことを痛感し、幸か不幸かそのうちに視力もだんだんなくなり、今でははくじょうなしでは歩

けなくなつたのである。その後、イエスにも導かれ、日々を過ごすようになってからは、神様とはくじょうに導かれながら、毎日生活し、また教会に通っているのである。

今の私は、毎週ガイドヘルパーのお世話になりながら、またはくじょうにたより、導かれながら、教会に通っているのである。

(西宮聖ペテロ教会信徒) 藤間孝子さん(聖ルシヤ教会) 点訳



点字の原稿とその点訳



これまでの「ぶどうの枝分科会」について

来年の十一月に開催される宣教協議会は、当初は今年の十一月に開催する予定でした。しかし、新型コロナウイルスの影響により、宣教協議会実行委員会による準備が思うように進まず、また各教区での宣教協議会に向けた機運を高めることも難しかったため、やむなく一年延期することになりました。けれども、ただ単に延期するのではなく、宣教協議会までの期間をより有意義な時間とするために、管区の諸委員会、聖公会に連なる諸施設、青年たち、主教会などと実行委員会とが分科会を行い、分かち合いの時を持つことが提案されました。この分科会は「ぶどうの枝分科会」と名付けられました。私たちは、「まことのぶどうの木」であるイエス様につながる「ぶどうの枝」です

が、その「ぶどうの枝」同士が、お互いにその恵みと課題を分かち合うというイメージです。「ぶどうの枝分科会」を宣教協議会のプロセスの一部として位置づけ、定期的に開催することになりました。

第一回目の分科会(管区諸委員会編)は、今年の二月二五日・三月四日に開催されました。参加者は、管区諸委員会から、礼拝委員会・祈禱書改正委員会、人権問題担当者、青年委員会、正義と平和委員会、女性デスク、ハラスメント防止・対策担当者、日韓協働委員会の代表者の皆さんと、宣教協議会実行委員でした。各委員会へのアンケートの回答をもとに報告があり、その後意見交換の時を持ちました。各委員会のこの十年の働きの恵みと、現在の取り組み、課題について分かち合いました。それぞれの委員会の多様な働きが、すべてイエス様につながっていること

に感銘を受けました。第二回目の分科会(青年委員・青年担当者編)は、五月九日・十五日に開催されました。管区の青年委員と各教区の青年担当者、実行委員が参加し、日本聖公会の中の青年たちやその活動について思いを分かち合いました。また、各教区の青年活動の恵みや課題、青年たちの主体性といったことについても話し合われました。宣教協議会においても、青年たちを「お手伝いさん」として扱うのではなく、これからの聖公会を担う存在として接することの大切さが共有されました。

第三回目の分科会(原発問題プロジェクト編)は、六月九日に開催されました。参加者は、管区の問題プロジェクトのメンバーと実行委員でした。まず、プロジェクト委員長の長谷川清純司祭から「この十年の恵みと課題」と題するお話、プロジェクトメンバーの池住圭さんから「原発と核の問題と聖公会宣教課題について」と題するお話があり、その後意見交換がなされました。この分科会を通して、原発や核の問題は東

日本大震災から十年を経てもお現在の問題であることを強く感じさせられました。「ぶどうの枝分科会」は、今後も続けられる予定です。来年の宣教協議会に向け、これからも多くの「ぶどうの枝」の皆さんと恵みや課題を分かち

合えればと願っています。(文責: 司祭 北澤 洋)



解説・宣教協働区・伝道教区とは? ③
— 教区制改革の歩み —

日本聖公会の現行11教区は、それぞれの成り立ちを経たが、日本という地理的・人的に小さな管区における教区再編の問題に関しては、組織成立当初から様々に議論されてきました。特に1970年代には、この問題を専門的に協議する委員会設置が相次ぎました。1974年の「教区制問題研究委員会」では、「2教区2伝道教区制」、「3教区4伝道教区制」、「2管区11教区制」などの案が提示され1977年の「教区制改革委員会」では、区域の再編にとどまらず、教区・教会の体質・体制の変革を目指す研究が行われました。これらは「明日

の教会を築く会」運動、「1980年宣教協議会」誕生のきっかけにもなりましたが、教区再編に向けた詳細な研究は、いずれも報告・提示の段階で終わっています。2000年代に入ると、「教区制改革を推進する機関」の設置が可決され、2008年の最終報告で「教区間の人事交流と教区間協働」、「給与格差の是正」を目標に、「11教区を複数の宣教協働ブロックに編成し、2総会期(4年間)取り組む件」と「教役者給与支援システムに向けた準備委員会設置」の可決に至りました。この動きの中で、大阪教区と京都教区は合併を見据えた協議に入り、その可否が注

2023年キリスト教一致祈祷週間 共同礼拝

「善を行い、正義を追い求めよ」(イザヤ1:17)

日時 - 1月25日(水)18:00～

場所 - 大阪カテドラル聖マリア大聖堂

主催 - カトリック大阪大司教区・日本聖公会・日本福音ルーテル教会・日本基督教団

(常置委員会)

目を集めることになりました。最終的に合意できなかつたことは、教区再編の難しさを改めて浮き彫りにしたと言えます。

管区では、2012年に「教区制改革と協働に関する協議会」で①信徒の奉仕職、②神学教育の課題、③教区設立要件、④管理主教の期間と兼務の可能性、⑤定年制、等の具体的な課題を挙げて、教区間協働に向けた研究・提言が行われましたが、抜本的解決にはつながりませんでした。

こうした経緯の後、2018年、主教会は具体的改革に向けタスクフォースを立ち上げ、管区総会への議案作成を目指すこととなります。

日本聖公会大阪教区 宣教局 生涯学習委員会 企画

『 pneumaの集い～「魂の癒し」を求めて～

第2回テーマ：「ゆるし」を考える【4回シリーズ】

- ①日時：2023年2月26日(日) 14時～15時30分
場所：日本聖公会 大阪教区 大阪聖三一教会
- ②日時：2023年3月26日(日) 14時～15時30分
場所：日本聖公会 大阪教区 聖贖主教会

申し込み不要・参加費無料

- ・会場へは公共交通機関でお越しください。
- ・お車でお越しの方は近くのコインパーキングをご利用ください

～ 当日のプログラム ～

13:30 受付開始
<検温、消毒、記名にご協力をお願いいたします>

14:00～15:00 分かち合い

15:00～ 賛美と祈り

15:05～ 小グループに分かれての分かち合い
<受付で番号札をお渡しいたします>

15:25 小グループ内での祈り

15:30 祝祷<磯主教>

大阪聖三一教会
(おおさかせいさんいちきょうかい)

大阪府大阪市東住吉区南田辺5丁目5-8
06-6692-2221

最寄り駅 JR 阪和線鶴ヶ丘駅
大阪メトロ 御堂筋線西田辺駅
谷町線駒川中野駅
近鉄南大阪線 針中野駅

聖贖主教会
(せいあがないぬしきょうかい)

大阪府大阪市淀川区十三元今里3丁目1-72
06-6302-7945

最寄り駅 阪急十三駅

大阪教区関係教役者 1月逝去者記念聖餐式

1月11日 (水) 10:30~

- 1日 宣教師 ヘンリー・ラング (1917米)
司祭 デービッド・マーシャル・ラング (1946英)
司祭 ウィリアム・ロイストン・グレイ (1950英)
- 3日 主教 ウィリアム・オードリー (1910英)
司祭 河合 堯三 (1939)
- 8日 司祭 テモテ 名出 望 (2015)
- 12日 司祭 ヨセフ 榎垣 基雄 (1965)
司祭 ギデアオン 小川 博司 (2002)
- 13日 伝道師 三木 八十五郎 (1918)
- 15日 司祭 パーシー・A・スミス (1960米)
伝道師 寺本 房吉 (1960)
- 19日 司祭 ペテロ 宇野 秀太郎 (1944)
主教 アーサー・リー (1958英)
伝道師 今泉 頼子 (1970)
- 20日 司祭 ヒカル 柳原 光 (1994)
主教 オーガスチン 高野 晃一 (2015)
- 21日 司祭 久永 光雄 (1937)
- 22日 主教 ペテロ 松本 寛一 (1980)
- 25日 執事 下部 徳太郎 (1933)
- 26日 司祭 パウロ 井上 進次 (2016)
- 27日 司祭 サムエル 久保 道則 (2011)
- 30日 執事 バルナバ 寺沢 久吉 (1945)
- 不詳 司祭 山下 有任 (1903)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

【常置委員会報告】 10/30第19回(臨時)

原田佳城司祭への対応について協議した。

11/11第20回(定期)

I. 主教報告及び諸報告

*12月3日(土)金頭昇司祭の聖婚式が川口基督教会で執り行われる。

【総務局】

・教区事務所の体制について「教区勤務環境対策委員会」が対応することとなった。

【財政局】

・2023年実施予定の宣教協議会の予算について協議した。

【宣教局】

・恒例の各施設へのクリスマスプレゼントについて協議した。

【連合男子会・婦人会】

・12月17日(土)連合男子会・教区婦人会共催で信徒の集い「ランベス会議報告とエリザベス女王の信仰」を開催する。

講師・西原廉太主教。大阪聖アンデレ教会。

II. 協議事項及び主教諮問

*教会協議の実施について協議した。

*10月30日に実施した「宣教協働区・伝道教区制について、京都事件検証報告書についての説明会」の振り返りを行った。

*定期教区会についての確認を行った。

*外国人教役者の受入れ時の日本語能力確認について協議してきたが、これまでの検討資料を参考資料として承認することとし、規約等

の形とはしないことを確認した。
*主教から人事についての諮問があり協議した。

洗 礼

芦屋聖マルコ教会
サムエル 郷野 真一
マルタ 郷野 真澄 (11月13日)

初 陪 餐

サムエル 郷野 真一 (11月13日)
マルタ 郷野 真澄 (11月13日)

堅 信

ヨセフ 榎垣 敬治 (11月13日)
ヨセフ 榎垣 敬治 (11月13日)

芦屋聖マルコ教会
ヨセフ 榎原 敬治 (11月13日)
バルナバ 中島 崇裕 (11月13日)
アグネス 碓井 蘭 (11月13日)
マリア 元浦 愛泉 (11月13日)

サムエル 郷野 真一 (11月13日)
マルタ 郷野 真澄 (11月13日)

主教巡回予定 (1月)

1日 尼崎聖ステパノ教会 堅信式
8日 大阪聖アンデレ教会 堅信式
15日 大阪聖ヨハネ教会
22日 大阪聖三一教会
29日 聖ガブリエル教会

お詫びと訂正

○2022年11月504号
6ページ
(誤)
ヨシユア 高橋正平司祭 (正)
ステパノ 高橋正平司祭
お詫びして訂正致します。

